



[公財] 日本太鼓財団

NIPPON TAIKO FOUNDATION

会報

発行・編集 2021年 秋号

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2 日本財団第二ビル6階

公益財団法人 日本太鼓財団 理事長 大澤 和彦

Tel.03-6205-4377 Fax.03-6205-4378

URL: <https://www.nippon-taiko.or.jp> Email: info@nippon-taiko.or.jp

橘太鼓「響座」ジュニア（宮崎）が4度目の栄冠に輝く!! 第23回日本太鼓ジュニアコンクールを財団初となる動画審査で開催

9月18日（土）第23回日本太鼓ジュニアコンクールの動画審査を笹川記念会館（東京都港区）にて開催いたしました。当初は8月15日（日）岡山県倉敷市で開催の予定でしたが、新型コロナウイルスの影響を受け、動画審査での実施となりました。

優勝を目指して7ブロック（北海道、東北、関東、中日本、近畿、中四国、九州）並びにブラジル、台湾より選抜された26団体249名が出場しました。

当日は台風16号の影響が心配されましたが、審査委員・技術委員の皆さまのご協力により、予定通り、無事開催することができました。また、万全を期すために、当財団が策定した「太鼓演奏における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に則り、検温と手指消毒、間仕切でソーシャルディスタンスの確保をするなど様々な対策を施し、審査を行いました。

厳正な審査の結果、「橘太鼓『響座』ジュニア」（宮崎）が優勝し、栄えある内閣総理大臣賞に輝きました。

今大会について出場者からは「コロナの影響で演奏機会が減っていたが、動画審査という形で出場することができて良かった」との嬉しい声が寄せられました。

大会の演奏はYouTubeにて配信しておりますので、下記QRコードもしくはURLから是非ご覧ください。



動画配信URL

<https://www.nippon-taiko.or.jp/movie/junior.html>

審査委員（敬称略・五十音順）

大澤 和彦（財団理事長）＊審査委員長
岡田 知之（（公社）日本吹奏楽指導者協会会長）
喜 多 郎（演奏家）
高野 右吉（財団副会長）
長谷川 義（財団副会長）
秦 和夫（（一社）日本マチングバンド協会理事）
古屋 邦夫（財団技術委員会委員長）



（動画審査の様子）

受賞一覧

優勝・内閣総理大臣賞

準優勝・総務大臣賞

文部科学大臣賞

第3位

第4位・岡山県知事賞

第5位・倉敷市長賞

特別賞 岡山県教育委員会教育長賞

倉敷市教育委員会教育長賞

株式会社浅野太鼓楽器店賞

有限会社諏訪響太鼓店賞

株式会社宮本卯之助商店賞

株式会社丸五賞

国際友好賞

国際友好賞

橘太鼓「響座」ジュニア（宮崎）

三代目源流少年隊（大分）

院内童龍太鼓（大分）

院内童龍太鼓（大分）

神洲八幡巫太鼓（福岡）

輪島・和太鼓 虎之介（石川）

越中いさみ太鼓保存会 春蘭（富山）

クリチーバ若葉太鼓（ブラジル）

和太鼓集団 夢幻の会子ども太鼓（香川）

信濃国松川響岳太鼓子供会（長野）

天城連峰太鼓（静岡）

岩代國郡山うねめ太鼓保存会小若組（福島）

クリチーバ若葉太鼓（ブラジル）

葫蘆墩Smile太鼓團（台湾）

*優勝した橘太鼓「響座」ジュニア（宮崎）から感想文をいただきましたので、掲載いたします。

「新たなジュニアコンクールを終えて」

代表 岩切 響一

本年のジュニアコンクールの稽古は、何もかもが例年と違ったものでした。

稽古場も中々使えず、稽古中はマスクをし、全ての出場団体がそうだったと思いますが、ジュニアコンクールの稽古をするにはあまりにも不自由な状況でした。一時期は、本当に稽古できるのか、出場できるのか、そんなことを考えた指導者や子供たちも居たと思います。そんな中、子供たち一人一人が自宅での自主練や稽古中の感染対策を徹底し例年との違いに自分達なりの対応をしている子供たちの姿を見てみると、学校行事すらも制限された子供たちのジュニアコンクールへのやる気や思いが手に取るように感じられました。

指導者の出来ることは、経験してきたことを教えるだけ。

それが今年は過去初となる動画審査とのことで指導者、出場者だけでなく関係者全ての皆様が経験のないジュニアコンクール。そんな中、会場で演奏できない事を悔やみながらも、新しい審査方法で出来る事を必死に考えている子供たちは、結果だけではなく、例年では感じる事の出来なかった何かを子供たちなりに感じたのではないかと思います。

子供たちの為に会場での開催をぎりぎりまでご準備をさせていただいていた岡山県支部の皆様、中止ではなく動画審査の開催をご判断いただいた日本太鼓財団他関係各所の皆様、本当に有難うございました。深く感謝申し上げます。



(優勝した橘太鼓「響座」ジュニア)

「第23回日本太鼓ジュニアコンクールで優勝して」 リーダー 後藤 瞭来 (16歳)

僕は、3歳から太鼓を始めました。最初は響座が祭りなどで演奏しているのを見て自分も同じステージに立ちたいと思って太鼓を始めました。小学生の時初めて大会に出た時は、とても緊張していたのを覚えています。また、大会に出ることで自分自身も成長する事や、学ぶことが沢山ありました。特に礼儀作法について学ぶことが出来ました。自分は大会に出るまで挨拶の仕方や周りを見て行動する事が出来ていませんでした。しかし、先輩方の背中を見て出来る様になりました。今では自分の姿を見られているので、常にお手本になる姿でありたいです。そして、今回はリーダーとして大会に出場する事になりました。リーダーをするにあたって指示をするだけではなく、どんな時も自分から行動する事を心掛けました。他のメンバーもしっかり付いて来てくれたおかげで優勝する事が出来ました。

今回、優勝する事が出来たのは沢山の人に迷惑をかけましたが、それ以上に多くの人から応援して頂いたからだと思います。指導者の方々、送迎をしてくれた母親に感謝したいと思います。そして、今大会にご尽力頂いた日本太鼓財団の方々へ感謝申し上げます。有難う御座いました。

二見 莉旺 (9歳)

僕は、小学3年生です。橘太鼓「響座」や響座ジュニアの演奏がかっこよくて2歳から太鼓を習い始めました。小学校に入り大会で優勝旗が持ちたくてチーム練習に参加しました。僕は今まで県大会しか出場したことがありませんでした。でも、今年に入ってから毎朝・毎晩の練習にも参加して一生懸命がんばりました。先生から全国大会のメンバーに選んでもらえてとてもうれしかったけど上手く出来るかなと心配でした。課題曲を演奏するのも初めてで、ジュニアの先輩たちとの練習は緊張もしてとてもキツかったです。基礎練習をして、パート毎に分かれて練習をしてきました。上手く叩くことが出来ない部分もたくさんありましたが先輩たちはいつも優しく・分かりやすく僕が出来る様になるまで教えてくれました。道場だけではなく家でも自主練習をいっぱいしました。打てなかった部分が打てるようになってうれしくて、さらにがんばれました。

全国大会の岡山県に行って、みんなの前で太鼓を演奏したかったけれどコロナの影響で現地には行けず動画審査でした。動画審査でも目の前にたくさんのお客さんがいると思って太鼓を打ちなさいと先生やお母さんに言われました。動画撮影の当日、衣装を着てステージに立ったらドキドキしました。「まちがえませんように」と祈って、大きな声を出して演奏しました。

初めての全国大会に出場して動画審査だったけど、結果を9月18日に聞いた時は「やったー」と叫びました。先生たちにも「おめでとう。良くがんばったな」と言ってもらいとてもうれしかったです。先生はいつも、お父さん・お母さん・家族に感謝しなさいと言います。お母さんや家族が毎日送り迎えしてくれるから練習が出来て、優勝が出来たので、僕は家族に「ありがとうございました」と言いました。僕は、また日本一を目指して練習をがんばりたいと思います。



(優勝時の演奏)

＜審査講評＞

各出場団体に送付いたしました審査講評の要点を以下に抜粋します。

＜課題曲＞

練習機会に恵まれない環境下にもかかわらず、技術の向上が感じられましたが、課題曲の楽譜を理解されていないと感じる団体が多かったのは残念でした。楽譜に指定されているクレッシェンドやアクセントなどを意識して演奏するようにして下さい。

＜自由曲＞

4分の時間の中で色々な表現をしようとする団体が多く見られましたが、何を表現したいのか理解に苦しむような構成は逆効果になりますので、盛り込み過ぎないように気をつけて下さい。

曲が途切れるような感じも気になりましたので、曲の構成に留意して下さい。また、全体に音量を含めてバランスにも気をつけて下さい。

第24回日本太鼓ジュニアコンクールは

2022年3月20日（日） 富山県富山市「オーバード・ホール」で開催！

各種会議

以下の会議を開催し、次の事項が審議、承認されました。

第73回技術委員会 9月18日（土）開催

1. 日本太鼓ジュニアコンクール審査講評まとめ

第69回運営委員会・第74回技術委員会（オンライン） 9月22日（水）開催

1. 第23回日本太鼓ジュニアコンクール実施報告

2. 第24回日本太鼓ジュニアコンクール実施計画

第6回大学太鼓フェスティバル延期日程

新型コロナウイルス感染者拡大のため、延期いたしました「第6回大学太鼓フェスティバル」の日程を2022年1月7日（金）に決定しました。なお、日程変更に伴い会場を「かつしかシンフォニーヒルズ モーツァルトホール」（東京都葛飾区）に変更いたしました。

出演団体等、詳細が決まり次第公式サイトにてお知らせいたします。

第23回日本太鼓全国障害者大会中止

2021年10月3日（日）DMG MORIやまと郡山城ホール（奈良県大和郡山市）にて開催を予定しておりました「第23回日本太鼓全国障害者大会」は、新型コロナウイルス感染者拡大防止に備え、共催の社会福祉法人富岳会と協議の結果、出場者、関係者の安全面を考慮し、中止いたしました。

楽しみにお待ちくださいました皆様には、大変ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解いただきますようよろしくお願い申し上げます。なお、代替日程の開催はございません。

日本太鼓支部講習会（兵庫）中止

2021年12月4・5日（土日）兵庫県立但馬文教府（兵庫県豊岡市）にて開催を予定しておりました「日本太鼓支部講習会（兵庫）」は、新型コロナウイルス感染者拡大防止に備え、主催の日本太鼓財団兵庫県支部と協議の結果、参加者、関係者の安全面を考慮し、中止が決定されました。何卒ご理解いただきますようよろしくお願い申し上げます。

* 新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、変更や中止となる可能性があります。
当財団公式サイトで随時情報を掲載いたしますのでご確認ください。

第18回日本太鼓シニアコンクール

期日：2021年11月21日（日） 開演予定13:30

＊9:30～日本太鼓ジュニアコンクール石川県予選開催予定

会場：津幡町文化会館「シグナス」

〒929-0342 石川県河北郡津幡町北中条3丁目1番地 Tel. 076-288-8526

主催：公益財団法人 日本太鼓財団、公益社団法人 石川県太鼓連盟、一般財団法人 石川県芸術文化協会、北國新聞社

主管：日本太鼓財団石川県支部、北陸三県太鼓協会

協賛：日本財団 特別協力：株式会社 浅野太鼓楽器店

表彰：名人位・準名人・特別賞等

出場団体：約30団体

2022年度太鼓エイド（日本太鼓助成金交付事業）申請受付について

2022年度太鼓エイド申請受付は、次の通りです。詳細は当財団公式サイトをご覧ください。

対象期間：2022年4月より2023年3月までの間に実施する事業

申請締切：12月16日（木）

助成金額：教職員研修会は20万円、その他事業は原則として1事業30万円以内

＊詳細は、下記、公益財団法人 日本太鼓財団（担当：笠原・橋本）までお問合せ下さい。

＊2021年度より「日本太鼓助成金交付事業」は「太鼓エイド」に名称変更しました。

ジュニアコンクール予選結果・推薦報告の提出について

2022年3月20日（日）第24回日本太鼓ジュニアコンクールがオーバード・ホール（富山県富山市）で開催されます。予選が終了した支部は予選実施報告書・出場団体推薦書を、予選を実施せず推薦する支部は出場団体推薦書を、出場が決まった団体は出場申込書を、それぞれお早めに提出して下さい。課題曲は、出場が決まった団体には年内に送付予定です。

なお、支部のない地域（和歌山・滋賀・愛媛・高知・鳥取・山口）の近隣支部は該当地域へのお声掛けをお願いいたします。出場を希望される団体は下記、公益財団法人 日本太鼓財団（担当：笠原・橋本）までお問合せ下さい。

訃 報

日本太鼓の普及、発展のためにご尽力いただきました、評議員選定委員の佐久間昭氏（公益社団法人 全日本郷土芸能協会専務理事・享年71）、佐賀県支部前事務局長の藤田恭彦氏（夫婦石太鼓保存会・佐賀・享年68）、宮崎県支部元支部長の甲斐伸一氏（五ヶ瀬太鼓保存会流鼓・宮崎・享年55）がご逝去されました。3氏には財団の活動にお力添えいただきました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

＊新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、変更や中止となる可能性があります。
当財団公式サイトで随時情報を掲載いたしますのでご確認ください。



公益財団法人 日本太鼓財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2 日本財団第二ビル6階

Tel. 03-6205-4377 Fax. 03-6205-4378

URL: <https://www.nippon-taiko.or.jp> Email: info@nippon-taiko.or.jp

